

第3章 略案(例)について

要請訪問や校内研修・相互授業参観等での活用を目的とした略案の参考例です。研修の目的やテーマによっても変わりますので、項目については、指導・助言される指導主事や先生と相談の上、加除修正して活用ください。

第○学年○・○組 保健体育科学習指導案（略案）

令和○年○月○日（ ）第○時限 活動場所
第○学年○組（男子○名，女子○名）計○名
授業者名 ○ ○ ○ ○

1 単元名 球技：ゴール型（バスケットボール）

2 指導観

近年、バスケットボールはプロリーグが発足したり，日本人のアメリカプロバスケットボール（NBA）選手が誕生したりと，人気が出てきているスポーツである。そのため，生徒たちの興味関心は高く，カッコイイという印象を持っている生徒が多い。その反面，ドリブル・パス・シュートなど技能は難しさも感じることもあるため，楽しみながら，基礎基本の定着を図れるよう工夫して取り組ませたい。

3 本時の指導

（1）目標

○ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができるようにする。（知識及び技能）

（2）展開

過程	時程	学習内容と活動	指導・支援（○），評価（☆）
はじめ	10分	・準備運動（集団走・体操・補強運動） ・整列・挨拶 本時の学習活動 「ディフェンスがいない場面でシュートを打とう！」	○体育係を中心にしっかり取り組ませる。 ※指導・支援を○で記入 ※評価については，評価規準・評価計画に基づき，評価の場面を具体的に示す。 (例)
なか	30分	※学習内容の順序を定めて書く。	☆ゴール方向に守備者がいない位置でシュートをすることができる。【知識・技能①】（観察） ※「おおむね満足できる」状況を判断する「生徒の具体的な姿」から「つまずき」の例を把握し，それに対する具体的な支援を示す。
まとめ	10分	・授業の振り返りを発表する。 ・挨拶・解散	○授業の振り返りを行い，生徒がアウトプットできる場を作る。

4 板書計画

本時の学習活動 「ディフェンスがいない場面でシュートを打とう！」

授業の流れ

- ①あいさつ・説明
- ②チームの練習
- ③シュートゲーム
- ④授業の振り返り
- ⑤あいさつ・片付け

